

基調講演



野崎 雅稔（のざき まさとし）

総務省総合通信基盤局電波部長

平成元年郵政省入省。

電波利用料企画室長、電気通信技術システム課長、放送技術課長、技術政策課長、電波政策課長、国立研究開発法人情報通信研究機構理事を経て、令和3年7月から現職。

基調講演



林 秀弥（はやし しゅうや）

名古屋大学大学院法学研究科
/同アジア共創教育研究機構 教授

名古屋大学大学院法学研究科教授。専門は競争法、公益事業法。京都大学博士（法学）。現在、総務省「電波監理審議会」委員（2016年～）、日本経済法学会理事（2011年～）、情報通信学会理事（2017年～）等を務める。【主著】『企業結合規制』（商事法務、2011年）、『オーラルヒストリー電気通信事業法』（共著、勁草書房、2015年）、『クラウド産業論』（共編著、勁草書房、2014年）、『独占禁止法審判決の経済学』（共編著、東京大学出版会、2017年）等。

パネリスト

**飯塚 留美(いづか るみ)**

一般財団法人マルチメディア振興センター
ICTリサーチ&コンサルティング部
シニア・リサーチディレクター

海外のICT分野における電波制度・政策にかかわる調査研究に従事。主な調査レポートに、「公共安全LTE/5Gの海外最新動向」(FMMC『ICTワールドレビュー』2020年12月/2020年1月号)、「5G海外最新動向」(電波新聞社『電波新聞』2020年12月～1月掲載、15回シリーズ、共著)などがある。

2009年1月より総務省情報通信審議会専門委員。

パネリスト



高田 潤一(たかだ じゅんいち)

東京工業大学 副学長(国際連携担当)／
環境・社会理工学院 教授

1987年 東京工業大学工学部電気・電子工学科卒業

1992年 東京工業大学大学院理工学研究科電気・電子工学専攻博士課程修了 博士(工学)

1992年－1994年 千葉大学助手

1994年－2006年 東京工業大学准教授

2006年－現在 東京工業大学教授

2002年－2007年 通信総合研究所／情報通信研究機構研究員(非常勤)

2006年－現在 総務省情報通信審議会専門委員

総務省電波政策2020懇談会委員(2015-16), 電波有効利用成長戦略懇談会委員／

公共用周波数等WG主査代理(2017-18), デジタル変革時代の電波政策懇談会委員／

公共用周波数等WG主査(2020-21)などを歴任.

アンテナ, 電波伝搬, 電磁界シミュレーション, 信号処理, UWB, コグニティブ無線,

周波数共用技術などの研究に従事. 電子情報通信学会フェロー, IEEEシニア会員.



三友 仁志（みとも ひとし）

早稲田大学国際学術院大学院アジア太平洋研究科研究科 教授

神奈川県生まれ。専修大学商学部助教授、教授を経て、2000年4月早稲田大学国際情報通信研究センター教授。2002年4月早稲田大学大学院国際情報通信研究科教授、2007年Stockholm School of Economics(スウェーデン)客員教授。2018年Aalto 大学（フィンランド）客員教授。2018年9月より2020年9月までアジア太平洋研究科長。

博士（工学）。International Telecommunications Society (ITS) 副会長、公益財団法人情報通信学会会長、早稲田大学デジタル・ソサエティ研究所長。総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員、情報通信審議会専門委員、総務省デジタル変革時代の電波政策懇談会 座長。一般社団法人クラウド活用・地域ICT投資促進協議会理事長。

代表的な著作：Hitoshi Mitomo ed., Telecommunications Policies of Japan, Springer, 2020.

三友仁志（編著）『大災害と情報・メディア・レジリエンスの向上と地域社会の再興に向けてー』勁草書房、2019年3月

専門分野は、デジタル・エコノミー、デジタル・ソサエティ論。